



“雨の日”

6歳女 イタリア

幼年美術

594

2018 6月号

発行所 大阪府東大阪市長田中4丁目6-3

ぺんてる(株)大阪支店内

全国幼年美術の会 〒577-0013 ☎(06)6747-1601

発行人 廣富靖海

年間購読料 3,000円 1部300円(送料込み)

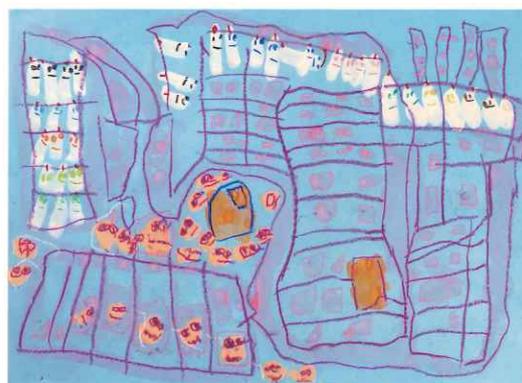


第48回 世界児童画展 作品より



“カエル!”

4歳男 滋賀県



“てるてるぼうず いちまんこ”

5歳女 神奈川県

巻頭言

造形に自信をもつ

先日、造形研修を行った保育園において、ある保育者から「子どもが楽しく活動できる造形教材を教えてください」という質問を受けました。研修内容は、午前中に保育者が行う造形実践の参観をし、午後には他の先生方も交えてその実践について話し合うというものでした。研修時、その保育者は絵の具を使った造形活動をしており、その活動は大変よかったです。ところが、何か自信がない雰囲気が出てくるのが気になっていました。午後の話し合いでは、その保育者曰く、「センスがないから造形は苦手」との答えでした。私はその保育者に「センスはあるけど、自信がないだけだ」と思いますよ」と伝えました。

私は大学で幼児造形の授業をしています。もう一つの顔として立体を中心とした造形作家でもあります。もし、造形作家になるというのであれば、一定のレベルを超えた技能やセンスは必要となりますが、保育者にとって何よりも造形に自信をもって子どもたちと接することが大切です。まずは保育者が、その教材を使って活動を楽しむことを考えましょう。保育者の自信がないと、子どもたちもその空気を読み取ります。逆に保育者が自信をもって楽しそうに準備をしていれば、言葉の導入がなくても子どもたちは集まってきて準備に参加し活動するでしょう。「子どもが楽しく活動できる造形教材」とは「子どもも楽しく活動できる造形教材」であり、保育者が自信をもつことが大切なのです。

四国幼美のこれから

四国幼年美術の会 滝川 稔

四国幼美の研究活動は、全国幼美からほぼ十年、跡からスタートしてあります。幼・保の研修の場を、そして造形活動を通じて子どもらしさの発揮と育成を願った先人の強い願いから始まった歩みです。それも、この夏で四十三回目を迎えます。

この会が一貫して取り組んできたことは、次の三点かと思えます。

- 一、子どものありのままの姿を中心において、その育成に力を注ぐこと。
- 二、造形活動の文脈を生かした子どもも育ての可能性を具体的な取組にしていこう。
- 三、身近な実践の中から、子どもたちの心からの表現に耳を傾け、大切に受け止めよう。

時代は移り、様々な変化や課題が見られる中から、子どもたちの躍る心をそっと見守りつづけたいものです。

ホスピタルアートディレクターの実践に学ぶ

第四十二回夏季研究会から

四国子どもとおとなの医療センターには、ホスピタルアートディレクターがいらつしやいます。病氣と闘うために日々進化し続ける医療の現場にあって、環境を整え、癒しと治

療の促進に寄与するだけでなく、抵抗力免疫力までも引き出すアートの力を演出する、それがホスピタルアートディレクターの役割です。その取組に学び、園庭の環境を見直すだけでなく、子どもたちの中に在る、育とうとする力を引き出す、森合音（もりあいね）さんの実践をご紹介します。

病院を癒やし空間に

デザインの総指揮を任せられ、構想を練っている。閉鎖的なイメージの病院の外壁や内装にアート作品を施す試みで、国立病院機構では全国で初めて。森さんは「病院を癒やしの空間にした」と意気込んでいる。



来春開院 香川の医療センター 森さん(つき)デザイン総指揮



外壁・内装にアート

森さんは、センターが国立病院機構・普通病棟 築家の選定を多数にデザイン業務の委託を、院(目)が統合、約6000坪を業務をこなす。受け入れ市のDPO法 診療科目 687床の病棟、今の目玉は、外壁にアートプロジェクトの床を備えた四国最大規模 普通病棟の木・クヌギ 患者から好評で、センター 2008年から国の総合病院となる。センターは、森さんはセンター 患者らから聞いた「アートプロジェクト」の外壁にアートワークを、森さんは「病気が癒やしの空間にしたい」と意気込んでいる。森さんは「病気が癒やしの空間にしたい」と意気込んでいる。森さんは「病気が癒やしの空間にしたい」と意気込んでいる。

- 二、材料
- エアークッション、セロテープ、油性色マーカー、棒、糸など

友達の良さを認め合いながら話し合い助け合って、制作活動を分担し作品を完成することができる。

こんな取組はいかがですか 「光と色のエアークッションアート」

教材研究、実技についての研修は、身近な素材、題材の紹介だけでなく、その研修のゴールをそれぞれの園庭での子どもたちとの取組に持つてこなければいけない。できるだけ、自分の実践上の課題に引き寄せた研修でありたいと考えています。昨年の夏季大学で提案させていただいた篠原先生の、最近の取組は以下のようなものです。

- 一、ねらい
- 荷物の梱包に最近使われる様々な形のエアークッションを素材に思いついた作品を製作することができる。

油性色マーカーで着色した後、太陽光に透かす鮮やかな色を感じながら、友達と楽しい遊ぶことができる。

三、活動計画

- (1) エアークッションを触りながら、感触を味わい色と光で作りに出せる美しさを体験させる。
- (2) 思いついたものをセロテープでつないだり、油性色マーカー着色したりして製作する。
- (3) 野外に出て太陽光と風を浴びながら遊ぶことができる。

四、学習指導過程

- (1) 梱包に使われていたエアークッションを渡し、「思いついたことを発表してください。」と投げかける。
- (2) 油性色マーカーや太陽の光で美しい色が床に映りスタンドグラスのようにできる事も地検させる。
- (3) 作りたい作品についてイラストを描いたり、説明させたりしてイメージを膨らませる。
- (4) 低学年は、個人製作。中学年は共同制作。高学年は話し合いで製作活動を始める。
- (5) 製作過程では、さりげなく話しかけ個々の思いや困ったことに対して相談に乗る。
- (6) 作品完成後は、運動場に出て光と風を楽しむ。
- (7) 作品のタイトルをつけた後、展示方法を話し合う。
- (8) 制作活動アンケートを書き今後の製作に生かす。

五、作品例



光が当たる踊り場や窓に貼り付ける
思い思いの自分人形



風を感じながら棒につけなびかせる

六、考察と反省

- (1) セロハンテープで簡単に張り合わせられ、油性色マーカーで短時間に着色できる良さがある。
- (2) 素材が軽くイメージが浮かびやすい。学年段階に合わせた製作活動が様々に工夫できる。
- (3) 糸や輪ゴムをつけるとマリオンネットになり、自分が人形になりお話ししながら友達と遊ぶことができコミニケーションを豊かにできる。
- (4) 軽いので窓や建物の柱に簡単に展示でき、みんなに鑑賞してもらいことができる。

高松の造形教育事情について 紹介

○芸術士の取組が十年

高松市内公私立四十の保育園、こども園、幼稚園を分担し各人がそれぞれ一〜四カ所の施設に向き、日々の保育の中で保育教育士、幼稚園教諭と連携しながら子どもたちと造形活動や身体表現など様々な表現活動を行っています。

「アートを通じた表現活動を通して子どもたちが自立し、物事を柔軟に対応できる多様性を持った人間に育てて欲しい。そして周りの大人も

その過程を一緒に楽しみたい。そんな豊かな保育環境をめざし、高松市の保育所へ作家である芸術士を派遣し、子どもたちの興味や芸術活動をサポートする活動を行っています。」
(芸術士サイトのメッセージから)

○四国幼美初代会長 池川敏幸先生の美術館開館



ますます、この四国の地から、わくわくする子どもも育ての情報を発信したいと思っております。



**2018 (平成30)年度
第55回 全国幼年美術の会 夏季大学ののご案内**
〔保育所(園)・幼稚園・認定こども園及び小学校低学年の表現活動〕

主催：全国幼年美術の会 協賛：ぺんてる(株)
後援：(公財)美術文化協会
(予定) 京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都新聞

幼年美術の会とは

「子どもの美意識と成長」を願う先生方によって、1963(昭和38)年京都で設立されました。第1回の夏季大学は、滋賀県比叡山延暦寺会館で、設立翌年の1964(昭和39)年に開催され、その後、54年に亘り毎年継続して開催してまいりました。テーマである「一人ひとりの子どもの心が育つ『表現』」を通して、豊かな人間形成のあり方を参加者全員で思索、実践し、交流を積み上げていく会です。保育所保育指針、幼稚園教育要領、教育・保育要領、学習指導要領等をしつかりと踏まえ、子ども達を中心に捉えた学びを、現場の先生方と共に大切に歩んでいきたいと考えています。



「1」実施要綱

1. 会場
龍谷大学(深草キャンパス) 2号館
〒612-8577
京都市伏見区深草塚本町67
2. 期日
2018(平成30)年8月4日(土)
3. 定員
300名
(先着順 定員になり次第締め切り)
4. テーマ
一人ひとりの
子どもの心が育つ『表現』
「心をひらき心をつなぐ実践」
5. 講演
「遊びを中心とした保育」再考
「遊びをどう理解し、援助するか」



河邊 貴子
(聖心女子大学教育学科/
教育学専攻・初等教育学
専攻 教授)

1957年東京都生まれ。東京学芸大学大学院修士課程修了。教育学博士。12年間の保育者経験の後、指導主事。その後、立教女学院短期大学准教授(同付属幼稚園天使園園長)を経て現職。主な研究課題は保育記録の在り方や遊び援助論。医療と地域と子どもをつなぐNPO活動もライフワークの一つ。第3期中央教育審議会初等中等教育分科会臨時委員、東京都子供子育て会議委員他。著書に『遊びを中心とした保育』保育記録から読み解く援助と展開(萌文書林2005)『保育記録の機能と役割』保育構想につながる『保育マップ型記録』の提言(聖公会出版2013)他。

6. 絵を読む会

「子どもの絵から保育・教育を語りあう」をテーマに、相談したり、話し合ってみたいご自身の関わった子どもの絵を、5枚以内ご持参頂ければ幸いに存じます。持参された絵を通じて、困っている事や悩みを年齢枠を設けず、グループに分かれて話し合います。

※ご持参頂く絵は大会での使用以外には使用致しません。

7. 実技研修 12講座

- A** 石膏と粘土を使った造形あそび
全国幼年美術の会
木代 喜司(副会長)
- B** 木に触れよう、木であそぼう！
「木育のすすめ」
全国幼年美術の会
矢野 真(監事・京都女子大学)
- C** 世界一美しい色水あそび
「光を生かした造形表現活動」
東北幼年美術の会
相馬 亮(尚綱学院大学)
- D** 和紙染め
「マコった…」を「たのしい！」
「おもしろい！」に変える工夫
石川幼年美術の会
森田 ゆかり
(会長・金城大学短期大学部)
- E** のび太もおどろくコエ(声)コプター
「あなたの声がプロペラを回す」
三重幼年美術の会
池村 進(松阪ユネスコ協会)

[4] 申込み方法

申込書と参加費用を 現金書留・郵便振替・銀行振込 でお送りください。

※郵便振替・銀行振込の場合、申込書は メール・FAX もしくは、郵送してください。

入金確認後、事務局より参加証を郵送致します。

2018(平成30)年7月13日(金)必着

※申込書は1人用です。複数ご参加頂ける場合は、人数分のコピーをお願いします。

全国幼年美術の会 事務局

〒577-0013
東大阪市長田中4丁目6-3
べんてる(株)大阪支店内
kawashima@pentel.co.jp
FAX 06-6747-1600

郵便振替

01070-6-9225
(加入者名：全国幼年美術の会)

銀行振込

三菱UFJ銀行 谷町支店
普通 5046060
幼年美術の会会長
廣富 靖海 (ヒロトミヤスミ)

※宿泊施設の確保が困難になっております。宿泊される方は各自で早急の手配をお願いします。

[5] 準備物

- ・ご入金確認後、参加証をお送りします。必ずご持参ください。
- ・実技研修の際、エプロン等、汚れてもよい服装をご用意してください。
- ・実技研修で、ご自身で作った作品はお持ち帰りできますので、袋をご用意ください。
- ・絵を読む会で、話し合いができるご自身の関わった子どもの絵を5枚以内ご持参ください。
- ・教室内は、全ての方に快適に研修を受けて頂く為、冷房が入ります。温度調節は全館一括管理で調節出来ませんので、必要に応じて上着をご用意ください。

[6] 備考

- ・申し込み後、参加できなくなった方は、納入金をお返しできませんので、代理の方の出席をお願いします。
- ・学生の方限定で特別価格で参加可能です。事前に申込書に「学

生」と明記して事務局に申込書をお送りください。

参加費は、当日受付でお支払いください。(学生証の提示が必要です。)

- ・Facebook「全国幼年美術の会」を御覧ください。昨年の様子や様々な情報を発信しています。
- ・8月2日(木)～5日(日) 京都造形芸術大学(京都市左京区北白川瓜生山2-116)にて世界児童画展の京都・滋賀・奈良地区展の開催を予定しております。是非ともご覧ください。
- ・その他、ご不明な点等ございましたら、

全国幼年美術の会 事務局

川島 篤
kawashima@pentel.co.jp
TEL 09-6747-1601
FAX 06-6747-1600

まで、お問い合わせください。



本号は、四国幼美から寄稿いただきました。ご紹介のホスピタルアートディレクターの森合音さん。個人的なことで恐縮ですが、ちょうど京都教育大学の日野陽子先生とのご縁から、同大学での特別講義を受講させて頂きました。講義後、日野先生と一緒に食事をしながら、ゆつくりとお話をさせて頂きました。又その後、NHKのTVでも紹介されました。その志の高さとしなやかな実行力に感銘を受けていただけに、大変懐かしく嬉しく読ませていただきました。

「教材研究、実技についての研修は、身近な素材、題材の紹介だけでなく、その研修のゴールをそれぞれの園庭での子どもたちとの取組に持ってくるべきではないか。できるだけ、自分の実践上の課題に引き寄せた研修でありたいと考えています。」この明確な研修に対する姿勢に感銘を受ける。篠原五良先生の実践報告。本紙読者の多くは保育関係者ですが、大いに学ばせていただける内容です。

そして高松の造形教育事情の中で、保育の現場と連携しながら子ども達と、造形活動や身体表現など様々な表現活動を取り組む「芸術士」についても言及されています。この「芸術士」に関して、本会の有力後援団体である(公財)美育文化協会主催の「ボケットミーティングin京都」(7月14日開催、於・龍谷大学)のトークライブで、お三方のお話が伺えます。詳細は本会フェイスブックをご覧ください。詳細は本会フェイスブックをご覧ください。美育文化協会へお問い合わせください。

巻頭言で矢野先生が「子どもが楽しく活動できる造形教材」とは「子どもと楽しく活動できる造形教材」であり、保育者が自信をもつことが大切なのです。」述べてくださっています。高松の芸術士さんの存在意義も、現場で萎縮する先生方の後押しであり、決して丸投げのイベント屋ではないのです。先生方の研修の学びも、所謂「役に立つ」ものの修得ではなく、子どもと如何に楽しく関われるかの眼差し・心構えへの学びだと、改めて捉え直す機縁となりました。(羽溪)